

## 報告事項(1)

9月定例教育委員会資料

平成30年9月27日

担当課

各課等

## 9月定例市議会一般質問教育長・副教育長答弁要旨について

## 【一般質問】

〔議員名 会派〕		〔担当課〕	〔ページ〕
岡田 信俊	会派新生	教育総務課	1
		学校教育課	2
		生涯学習・スポーツ課	3
岩永 安子	共産党	学校保健給食課	4
		教育総務課	5
吉野 恭介	会派新生	学校教育課	6~7
		教育総務課	8
前田 伸一	公明党	教育総務課	9
勝田 鮮二	結	教育総務課	10
		学校保健給食課	11
		学校教育課	12~13
		生涯学習・スポーツ課	14
寺坂 寛夫	会派新生	学校保健給食課	15
		生涯学習・スポーツ課	16
太田 縁	無所属	学校教育課	17
		文化財課	18
山田 延孝	会派新生	生涯学習・スポーツ課	19
平野 真理子	公明党	学校教育課	20
		生涯学習・スポーツ課	21
雲坂 衛	会派新生	教育総務課	22
足立 考史	無所属	教育総務課	23
秋山 智博	市民フォーラム	学校教育課	24~25
桑田 達也	公明党	学校教育課	26
椋田 昇一	無所属	生涯学習・スポーツ課	27



## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	1 鳥取市立小・中・義務教育学校の暑さ対策について (1) 空調設備整備について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇) 全教室への空調設備設置にあたっては検討事項も多く、多方面より関心が寄せられていると感じる。全教室の空調設備整備に対してのお考えを、市長に伺う。</p> <p>(追及1) 国は全国の小中学校のエアコン設置のため政府補助を検討する考えを示している。このような件に関して、本市はどのように受け止めているのか伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)【市長答弁】 小・中・義務教育学校の空調設備の設置につきましては、近年の猛暑による児童・生徒の健康管理・教育環境の充実を考えますと、整備に係る具体的な計画の策定が急務であると認識しております。 しかしながら、全ての教室にエアコンを設置するには、早期に整備するための整備手法や発注方法、またコスト縮減の工夫など、検討すべきことが多くあります。 このような検討事項においては、現在、民間事業者を対象に、サウンディング市場調査を行うこととしており、導入する機器の選択や、発注・整備方法について、現実的な意見交換を行うこととしております。いずれにいたしましても、整備方針を早急にたてエアコンの設置を着実に進めていきたいと思っております。</p> <p>(追及1)【市長答弁】 学校の空調設置整備にあたりましては、教室数が多いことから、多額な事業費が想定されます。 文部科学省の概算要求案につきましては、具体的な内容が示されておきませんが、整備におきましては、国の動向に注視しつつ、有効な財源の確保に努めていきたいと考えます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	鳥取市立小・中・義務教育学校の暑さ対策について (2) 夏季の部活動への暑さ対策について		
<p><b>【質問要旨】</b>  <b>(追及2)</b>            夏休み中の部活動等では、練習中に適度の休息をとり、水分補給するといった指導も行われていると考えますが、暑さ対策として具体的にどのような指導がされているか伺います。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b>  <b>(追及2)</b>            各学校では、様々な取組をしながら、熱中症事故の防止に最大限の注意を払っております。部活動前後の健康観察をしっかりと行いますと共に、練習中も生徒一人一人の状態をよく見て体調が悪い生徒があれば、すぐに練習をやめさせる等の対応をしています。また、定期的に休憩を入れ、こまめに水分や塩分の補給を行ったり、朝夕のできるだけ涼しい時間に活動をしたりしております。更に、保健室等にエアコンを入れ、体調不良の生徒に対して、すぐに対応をしたり、経口補水液を常備したりしております。            一方で、家庭に協力をお願いし、生徒の基本的な生活習慣を確立させることも大切だと考えております。早寝早起きをして睡眠時間を十分摂ることやバランスの取れた食事を3食十分摂ることは、熱中症対策にも繋がると考えております。今後も家庭と協力しながら、生徒が健康で安全に部活動ができますよう取り組んでまいりたいと思います。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2「宙の駅」鳥取市さじアストロパークを活用した取り組みについて (1)館内のバリアフリー化や設備のリフォームについて (2)専門職員の配置について (3)今後の取り組みについて		
<b>【質問要旨】</b> <p>(登壇1) 充実した天体観測施設をもつ「さじアストロパーク」が、本市の観光客誘致等に繋がっていくように、多方面に向けて売り込んでいくべきと考える。教育長の所見を伺う。          (追及1) 「さじアストロパーク」のバリアフリー化やプラネタリウムの更新、対応する職員の増員など、少しずつでも改善に向けた取り組みをお願いしたい。教育長の所見を伺う。          (追及2) さじアストロパークや本市の美しい星空を全国に知っていただくため、本市独自で、もしくは県と協力した取り組みができないか。教育長の所見を伺う。</p>			
<b>【答弁要旨】</b> <p>(登壇) 県内唯一の天文台である「さじアストロパーク」から見られる美しい星空は、世界に誇れる貴重な財産であると考えています。          今年の夏は、15年ぶりの火星の大接近にあたる年で、夏休みの期間中には大勢の方のご利用をいただきました。また、施設内で飼育している「宇宙メダカ」が縁で、中国地方初となる宇宙メダカの全国大会も開催しております。          この施設の魅力は、学術面だけでなく観光面からも国内外に発信していく必要があると考えています。このため、市長部局と連携して全国の旅行会社を対象とした観光情報説明会で施設の紹介をしたり、海外のブロガーやカメラマンを招聘するツアーを活用するなど、ブログなどによる情報発信に努めているところです。</p> <p>(追及1) 「さじアストロパーク」は、平成6年7月にオープンしました。当時は、天文台施設として、いち早くバリアフリーを取り入れ、例えば4階までエレベーターで天体観測室に行くことができたり、車いすに座ったままで天文観察ができる装置も日本で最初に導入しています。          しかしながら、宿泊施設については、まだ対応が遅れているといった現状もあり、また、プラネタリウムの投影機をはじめとする機器類も旧型となってきております。対応する職員体制のあり方等も含め、具体的にどのような改善を行い、その魅力を向上させていくのかについては、有効な財源の確保や、施設の将来像をしっかりと見据える中で検討を行っていきたいと考えています。</p> <p>(追及2) さじアストロパークは、平成28年度末より「宙(そら)の駅」を名乗っております。これは星をキーワードにたくさんの方が集まり交流が生まれ、発信していくにぎわいのある拠点となるようにと願って名付けられたものです。特に、鳥取県が進めている「星取県」発表後、本県唯一の天文台であるさじアストロパークに夜間の星空観察のニーズが増えており、火星の大接近もありましたが、今年の8月は昨年に比べて約2.5倍の2,800人近くが訪れ、県内の天文・宇宙分野の拠点施設としての期待がますます高まっているようです。          今後も、県とも十分連携を図りながら、さじアストロパークのPRや本市の美しい星空の発信に、積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<b>1 子供の医療費負担について</b> <b>(1) 医療費負担無料化を目指して</b>		
<b>【質問要旨】</b>			
<p><b>(登壇)</b>          小学校で実施されている歯科の定期健康診断の結果、医療機関への受診が必要とされた児童のうち、医療機関を受診していない割合（未受診率）を尋ねる。</p> <p><b>(追及1)</b>          定期健康診断（歯科）の結果、医療機関への受診を勧告された児童のうち、約半数の児童が受診していない現状を教育長はどう考えるか。</p> <p><b>(追及2)</b>          適切に医療に繋がらないといけないと感じているとのことだが、そのような状況下で半数が受診できていない子供、家庭の状況についてどう考えるか。</p> <p><b>(追及3)</b>          教育委員会では、定期健康診断により要受診とされた児童生徒の未受診率を把握していない。定期健康診断により異常を発見したのであれば、教育委員会として未受診率を把握するべきではないか。</p>			
<b>【答弁要旨】</b>			
<p><b>(登壇)</b>          平成29年度に小学校において行った歯科の定期健康診断で、虫歯が見つかったことなどにより、医療機関を受診するように勧告した児童数は、3,491人でした。          そのうち、年度内に医療機関を受診していない児童の割合は、1,751人、50.2%でした。</p> <p><b>(追及1)</b>          学校においては、学校保健安全法に基づき児童生徒等の心身の健康の保持増進を図るため、健康診断を実施することが義務付けられています。          この健康診断は、学校における保健管理の中核に位置するものですが、細かく専門的な診断を行うことはできないため、医療機関への受診勧告を含む事後措置は、重要であると考えます。          学校では養護教諭を中心に、担任からも受診勧告を行っています。教育委員会としましても、健康診断の結果を適切に医療に繋がられるよう、複数回の受診勧告など受診状況の管理や保護者に対する保健指導などの取組みを改めて各学校に働きかけたいと考えます。</p> <p><b>(追及2)</b>          50%が多いか少ないかは、他市の状況を確認していないためわかりませんが、いずれにしろ少しでも受診率を上げていくことに努めたいと考えます。様々な家庭の状況があるため、家庭とも連携して受診率向上に取り組むたいと考えています。</p> <p><b>(追及3)</b>          学校における健康診断は、それぞれの児童生徒が学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて健康状態を把握する役割と、学校における健康課題を明らかにして健康教育に役立てるといふ、大きく二つの役割があります。          これらの役割を果たすため、各学校において、定期健康診断実施後、適切に医療に繋がっているかどうかを把握し、保健指導において保護者に対して必要な助言を行っているところです。教育委員会としましては、児童生徒の健康の保持増進を図るため、学校に受診勧告などの適切な事後措置を求めていきたいと考えますが、その中で必要があれば、受診状況の把握等に努めてまいりたいと考えます。</p>			
	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 熱中症対策について (1) エアコン設置と支援について 小中学校教室と体育館		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 今年の全国的な猛暑について、気象庁は生命に危険を及ぼすレベルと発表した。市長は全教室へのエアコン設置を表明しているが、これについて教育長の考えを伺う。 (追及1) 全普通教室への空調設備100%設置に向けて何年間を想定しているか (追及2) 既に各学校に設置されているエアコンについて、故障しているものについては修繕はされるのか伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 近年の夏場は猛暑の日が続くことが多くなり、児童・生徒の学習や活動にかなりの影響が生じているものと認識しています。 教育委員会といたしましては、夏場の学校環境の改善を図るため、現在、空調設置に向け検討を重ねている状況であります。 児童・生徒が安心して過ごせる環境の確保に向け、早急な整備が必要と考えております。 (追及1) 全ての学校に空調設備を整備する期間につきましては、現在、検討しているところであり、整備計画の中でお示ししたいと考えております。 いずれにいたしましても、早急に整備が完了するよう努めたいと思います。 整備計画については、年内か、遅くとも年度内には立てたいと考えております。 (追及2) 既設の空調機器が、故障した場合は速やかに修繕などの対応を行っております。また、修繕では直らないものにつきましては、新たな機器を導入しております。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
対応方針			
進捗状況			
報告日 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	コミュニティ・スクールの推進について (1) 子ども目線でのまちづくりについて		

### 【質問要旨】

(登壇1) 青年会議所が郷土愛を育んだり主権者意識を醸成したりすることができる魅力的なイベントを組んでいる。このような地域と連携して行う教育活動、コミュニティ・スクール、青少年達を育てていく仕組みについての展望を教育長に尋ねる。

(登壇2) 今年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が例年より1ヶ月早い7月末に公表された。地域の行事への参加度合いなどは、全国の平均を上回っている。調査開始から10年が経過するが、これまでの結果をどのように分析し、教育現場への具体的な実践へ展開されようとしているのか教育長に伺う。

(追及2) コミスクの委員として、学校運営に関わっている者として確認しておきたいが、学力調査の結果が知育・教育を向上させる一手段であると捉えるなら、心や体づくり・仲間作り・事の善悪、そして人を思い優しくするといった人として大切な基礎を育てる所に改めて注力することが必要と考える。これについて教育長の見解を伺う。

### 【答弁要旨】

#### (登壇1)

地域の人的・物的資源を活用しながら、これからの子どもたちに求められる資質や能力を育む、いわゆる「社会に関かれた教育課程」は次期学習指導要領が最も重視するところです。

市教委としては、小中学生の姫路、郡山との姉妹都市交流・中学生のシンガポールへの派遣・佐治町での中山間地域ふるさと体験活動・各校区での職場体験活動など、様々な交流や活動を行っており、これらの活動によって子どもたちは、多くの他者と出会い、お互いの立場を尊重しながらも、コミュニケーション能力を高めるなど、未来に向けてたくましく生き抜く力をつけていきます。また、外の世界を知ることにより、ふるさとに対する理解を深め、郷土愛にもつながっていると考えております。

今後とも、次世代の子どもたちに必要な教育を幅広く推進していきたいと考えております。また、地域と連携して行う子どもたちの教育活動については、これまで以上にコミュニティ・スクールの運営協議会の皆様をはじめ、地域と連携しながら取り組みを進めて参りたいと考えています。

#### (登壇2)

全国学力・学習状況調査については、ご指摘のとおり、学力面だけでなく児童・生徒が質問紙で回答した項目の内容についても、重視する必要があります。これまでの回答を分析しますと、小・中学校ともに、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「授業時間以外にどれくらい読書を読みますか」といった問いに対して、年々数値が上昇しています。これは、「特色ある中学校区創造事業」を推進しており、各中学校区では、社会で活躍されている方を招いてフォーラムを開催するなど、様々な実践が行われている効果だと思えます。また、各学校の図書室へ司書を配置してきたことも功を奏したと考えます。逆に小学校において、「自分にはよいところがあると思えますか」とか「将来の夢や目標を持っていますか」という問いについて全国の平均より低い傾向があります。

これまで以上に様々な大人との出会いや体験活動を取り入れることで、自己肯定感や夢や目標を持つ子どもたちの育成に努めて参りたいと考えています。

#### (追及2)

全国学力学習状況調査では、教科の学力を調査するとともに、児童生徒の生活についても質問紙を使って調査を行っています。過去の調査の分析において、生活習慣と学力に相関があるだけでなく、地域ボランティアの活動が盛んな地域において、高い学力を維持していることなども分かってきています。このような結果を見ますと、議員のご指摘のとおり、健康な生活や人との関わりを大切にする教育がこれまで以上に重要と考えております。

人として大切な基礎を育てるという観点から考えますと、社会総がかりで子どもたちを教育するコミュニティ・スクールの仕組みは今後ますます重要になってくると考えます。今後、学校運営協議会委員の皆さまのますますのご協力をお願いすることになると思いますが、さらなる取り組みに積極的に努めて参ります。

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	コミュニティ・スクールの推進について (1) 子ども目線でのまちづくりについて		
<b>【質問要旨】</b> (追及3) 平成26年に導入されたコミュニティ・スクールの仕組みは今年で5年目を迎える。制度が始まってコミスク委員としてかかわる中、次の時代を担う人づくりの責任を共有しながら学校運営に協力したいと日頃より考えているが、その成果をどの様に評価され、今後を考えているか。 (追及4) ある小学校でのメディアに関するアンケート結果によると、夜中までメディア漬けになっている児童が多数みられ、メディアとの付き合いに関してPTAを含めた学校側も対応に苦慮している。各学校で単独対応するより学校・保護者・地域を挙げて共通課題として対応にあたるべきと考える。この点について、教育長の見解を伺う。 (追及5) 各校は学校運営の改善を目指して、児童生徒や保護者にアンケートをとっている。コミスク委員として関わるようになり、学校はまさに多忙だと感じている。コミスクの組織を活かし、アンケートの現状からみえる課題と一緒に考えていかなければと考えるが、教育委員会として今後の学校現場の負担軽減についての考えを尋ねる。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及3) 本市58の学校のうち、本年度末には、48の学校がコミュニティ・スクールになる見込みです。このように急激な広がりを見せた背景として、コミュニティ・スクールを導入した学校が、地域の方から日常的に支援を得るだけでなく、自然災害等臨時的な対応においても綿密な連携をとっている例などが報告されており、様々な学校課題にこたえる仕組みであることは、大変評価されていると考えております。一方、地域に開かれた学校のあり方や学校運営の方針の作成に地域住民も参画するといった視点では、まだ研究の余地があると考えます。 教育委員会としては、これからのコミュニティ・スクールのあり方について、モデル校を指定するなどして検証を重ね、よりよい制度となるよう努めて参ります。 (追及4) 市においても、インターネットの使用に関して家庭でのルールを決めている割合が全国より低いなど、心配な状況があります。したがって、各学校においては、子どもたちに対して情報モラルの学習を行ったり、教職員の研修を行ったりしています。情報機器を活用する力については、これからの時代を生き抜く子どもたちにとって必要な力ですので、学校教育の中で正しい活用について指導する必要があります。しかし、深夜までメディアが手放せなかったり、ゲームを大量に買い与えたりといった問題の解決については、家庭の協力を得る必要があります。各学校では校長会で作成された啓発用のプレゼンを活用して保護者への理解を促しています。教育委員会としても「携帯インターネット教育啓発推進事業」として、講師を派遣したり、フォーラムへの参加を促したりするなどしています。 どの学校でも共通した課題であるという認識のもと、学校・地域・家庭の役割分担を明確にして対応できるよう、さらなる取り組みに積極的に努めて参ります。 (追及5) コミュニティ・スクール導入の目的は「地域とともにある学校」の実現ですが、教員の多忙化の解消に寄与することも期待されます。コミュニティ・スクールを先進的に導入した地域では、運営協議会で学校・地域・家庭の代表が話し合うことで三者の役割分担が明確化した例や地域と学校が顔が見える関係となったことでこれまで以上に学校への協力が増えた例が報告されています。それに加えて鳥取市では、本年度より教職員の業務の軽減をめざし、公会計化や校務支援システムを導入しました。このように、本市としては様々な角度から現場の多忙化解消に取り組んでおります。運営協議会委員の方々からも意見を伺いながら、今後とも教職員が本務に専念できる環境を整えていきたいと考えています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
対応方針			対応済
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 公共施設の更新について (4) (3)学校施設への展開について		
<p><b>【質問要旨】</b>  <b>(追及6)</b>          公共施設の代表例として学校施設について、教室を使用していない時間を、例えば放課後児童クラブに解放するとか、地域住民に開放して施設の24時間を有効利用する様なことを考えるべきではないかと考えるが、この点について伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b>  <b>(追及6)</b>          学校施設の使用許可につきましては、鳥取市学校条例施行規則に基づき、校長が学校管理上支障ないと判断したものについて、教育委員会が許可することとなっております。          普通教室の時間外における地域開放につきましては、教室内に児童・生徒の教材や習字道具等の教具が置いてあることや、教室内の掲示板に児童・生徒の個人情報などが掲載されていることもあり、学校管理面において、学校関係者以外への開放は難しいと考えております。          その他の空き教室については、現在も放課後児童クラブに活用していただいております。今後有効利用を行っていきたいと考えております。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月5日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 生命を守る防災減災対策について (3) 避難所環境の整備について マンホールトイレについて		
<b>【質問要旨】</b> (追及11) 小中学校のプールの水を利用したマンホールトイレを整備すべきだと考えるがいかがか。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及11) 学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時における地域の避難所としての役割も担っております。 近年、全国的にも大きな災害等が発生しており、避難所として学校施設に求められる、防災機能の要求は多くなっております。 このような状況から、教育委員会単独で防災機能の設備の充実を図るのではなく、関連する他の部局や、事業との調整が必要と考えます。 議員ご紹介の、プールの水を活用したマンホールトイレの設置につきましては、まずは、他都市の事例などを研究してみたいと思います。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	結	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	1 小中学校の熱中症対策について (1) 現状について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇) 現在の空調設備設置状況を踏まえ、小・中・義務教育学校での熱中症対策についてどのように考えているか教育長に伺う</p> <p>(追及3) 中学校3年生教室への空調設備整備の進捗状況について</p> <p>(追及4) 普通教室はもちろん、特別教室にも空調設備が必要と考えるが、児童・生徒や先生も快適に過ごせるよう、負担がかかる要因がある教室については、優先度を上げて対応すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(追及5) 未設置教室への空調設備設置を早急に希望するが、今後どのように進めていくのか、市長に伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)</p> <p>近年の夏場の猛暑は、児童・生徒の学習や活動にかなりの影響を与えていると認識しているところであり、さまざまな対策が必要と考えております。</p> <p>学校環境においては、現在、普通教室等への空調設置に向け検討を重ねており、児童・生徒が安心して過ごせる環境の確保に向け、早急な整備に努めたいと考えております。</p> <p>また、熱中症対策については、児童生徒の命に関わる問題であることから、各学校の実態に応じた十分な健康管理が重要であると考えています。</p> <p>(追及3)</p> <p>空調設備整備におきましては、工事する個所が学校であることから、学校生活や授業の妨げとならないよう考慮する必要があります。</p> <p>特に、騒音が発生する工事については、夏季休業中に整備が集中することを基本としており、また学校行事やテスト期間中には工事を行わないなど配慮し施工しております。</p> <p>現在の工事の進捗状況ですが、鹿野学園王舎城学舎では、今年度の7月中旬から施工し、工事は既に完了(9月4日)しております。中ノ郷中学校につきましては、5月下旬から施工しておりますが、教室数が多いことから完成が11月中旬となっております。</p> <p>(追及4)【市長答弁】</p> <p>全ての教室にエアコンを設置するには、早期整備に向けた整備手法や発注方法、またコスト縮減など、検討すべきことが多くありますが、その中で、日当たりが厳しく、室内温度が高くなる教室など児童・生徒にかかる負荷についても検討要因と考えております。</p> <p>いずれにしても、様々な要因を総合的に考慮しながら、児童・生徒が気温の高い夏場でも快適に過ごせる環境の確保に向け、具体的な計画の策定と早急な整備に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>(追及5)</p> <p>全ての学校に空調設備を整備する期間につきましては、現在、民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査を実施して、速やかに事業着手できるよう、計画策定を進めているところです。</p> <p>したがって、現時点で明確な期間はお答えできませんが、早急に整備が完了するよう努めたいと思います。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	結	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	小中学校の熱中症対策について (2)マニュアルについて		
<p><b>【質問要旨】</b>  <b>(追及1)</b>          小・中・義務教育学校における熱中症対策において、マニュアルを策定しているか。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b>  <b>(追及1)</b>          連日、猛暑が続いた本年7月18日には、各小・中・義務教育学校長に対し、環境省が作成した「熱中症環境保健マニュアル2018」などを参考にして、熱中症事故の防止について最大限の注意を払うよう通知しています。文部科学省が発出した熱中症事故防止についての通知にも、これらの参考資料が例示されているところです。          したがって、本市では、国等が作成したマニュアルや資料を学校における熱中症予防の基本としており、熱中症対策に関する独自のマニュアルは策定していません。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	結	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	小・中・義務教育学校の熱中症対策について (2) マニュアルについて (4) 部活動について		
<b>【質問要旨】</b> (追及2) 小・中・義務教育学校はどのような熱中症対策を行っているのか。また、市教委はどのような指導を行っているのか。教育長の所見を伺う。 (追及6) 学校の所管している中学校の部活や小学校の課外活動などでは、熱中症対策についてどのような対策をしているか。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及2) 各学校では、「こまめな水分・塩分補給等の声かけ」「図書室等のエアコンのある部屋の授業での活用や暑さ対処シェルターとしての利用」を行っています。 <u>中学校等においては部活動や駅伝練習等の活動時間や練習内容に配慮したり、気温や湿度等に応じて活動を中止したりしています。また、とりわけ暑さが厳しい日には、短縮授業や午後の授業を打ち切り、下校時刻の繰り上げを行ったり、屋外での活動の制限や禁止を行うなど熱中症対策を行っています。また、「熱中症事故の防止についての通知」や「熱中症警報の発令に伴う注意喚起」を行い、各学校に対して最大限の注意を払うよう指導するとともに、各学校の対策についての状況の把握を行っています。</u> (追及6) 学校においては、 <u>子ども達の「命と健康を守る」ことを最優先にしながら、様々な活動を行っており、部活動や課外活動におきましても同じ考えであります。当日の気象条件によっては、活動時間の短縮や活動中止の判断を校長の責任において行っております。</u> 各学校では、日頃から児童生徒に対して熱中症予防指導を行っています。子ども達の体調面や気象条件等、様々な条件を総合的に検討した結果、活動できると判断した時には、健康観察やこまめな水分・塩分補給、適度な休憩を行いながら、活動を実施し、できるだけ短時間で効率的・効果的な活動となるよう努めると共に、保健室等にエアコンを入れ、体調不良の生徒に対しても、すぐに対応できるようにしています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	結	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	小・中・義務教育学校の熱中症対策について (2) マニュアルについて (4) 部活動について		
<b>【質問要旨】</b> (追及8) 近年の猛暑をうけ、夏休み・冬休みのバランス等については検討されないか。教育長の所見を伺う。 (追及9) 校外学習から帰校した際、学校は児童生徒にどのような対策をしているか。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及8) 本市では1年間の夏休みなどの休業日の日数は、学校管理規則で定めています。例えば、夏休みを長くすると冬休み等を短くすることとなります。来年度以降については、年間の授業時間数の確保等も考慮する必要がありますので、1年間の休業日の日数を増やす等、弾力的な運用ができるかどうか、校長やPTAの皆さんとも協議を進めていきたいと考えています。 (追及9) 学校では毎朝、児童生徒の健康観察を行っています。校外学習を行う際には改めて、出発前から帰校まで子どもたちの体調には細心の注意を払っています。その中で急を要する場合には、直ちに医療機関へ緊急搬送するなど、適切な対応に努めています。急は要しないものの、帰校してから不調を訴える子どもに対しては、保健室やエアコンのある部屋等で休養を取らせるなど、子どもの健康を第一に、日々対応しているところです。また、何らかの対応を行った場合には、保護者へ連絡し、帰宅後の様子に留意いただけるよう配慮しているところです。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	結	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 小中学校の熱中症対策について (4)部活動について		
<p><b>【質問要旨】</b>  <b>(追及7)</b>  熱中症事故防止について、スポーツ少年団等の社会教育の場面では、指導者にどのように行っているか教育長に伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b>  <b>(追及7)</b>  本市教育委員会は、スポーツ少年団を含め社会教育の場面で小学生等が活動を行う際には、指導者が熱中症対策に万全を期していただくよう、鳥取市体育協会を通じて各種目の競技団体への周知をお願いしているところです。  今後も、小学生等がスポーツ活動中に熱中症等にならないよう注意喚起を継続していきたいと考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	寺坂 寛夫	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	危険ブロック塀への安全対策について (1)本市所有施設の危険ブロック塀の現状と安全対策について		
<b>【質問要旨】</b> (追及2) 学校の通学路における危険ブロック塀の点検はどのように行ったか尋ねる。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及2) 大阪北部の地震を受けて、児童生徒の通学路の危険箇所の把握と安全指導を行うため、市内小・中・義務教育学校全58校で、ブロック塀などの安全点検を7月17日までに済ました。 点検は、各学校が通学路の現地調査で、目視により行ったものです。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	寺坂 寛夫	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 スポーツ広場の整備について (4) 新たなスポーツ広場の整備について (5) スポーツ振興の考え方と対策について		
<b>【質問要旨】</b> (追及3) 市長は、平成27年9月議会において、「スポーツ広場」の整備について「公共施設の再配置検討ワーキンググループ」などによる検討や、利用状況、将来予測等を踏まえて、総合的・中長期的視点に立った整備を図っていききたいとの答弁であった。新たなスポーツ広場の整備についてどのように考えているか、改めて市長の所見を伺う。 (追及4) 被災等で施設が使えないことが、競技人口の減少につながっていると考えている。まとまったスポーツ施設を整備することも今後のスポーツ振興につながると考えるが、今後の屋外スポーツ振興について全市的にどのように取り組む必要があると考えているか、市長の所見を伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及3) スポーツ施設については、「公共施設再配置基本計画」に基づき、更新時期に向けて整備の方向を検討することとしています。 議員ご質問のスポーツ広場の整備については、県や近隣の町が所有する施設の配置等を勘案し、全市または県東部圏域レベルで活用することを前提に、統合・整理を検討すべきと考えています。 したがいまして、新たなスポーツ広場の整備については、公共事業・公共工事等に関係して、やむを得ず整備する場合を除き、現段階ではなかなか困難ではないかなと考えています。 (追及4) 本市では、平成28年3月に「鳥取市スポーツ推進計画」を策定し、その基本理念を「すべての市民がいつでもスポーツ活動を実践できる環境を整え、スポーツ活動を通じて、生涯にわたって活力に満ちた豊かな生活を送ることができる鳥取市」と定め、様々なスポーツ振興策に取り組んでいます。 ご指摘のように、スポーツ振興のためには、施設整備等による環境の構築も大切な要素ですが、人口減少の進行が予測される中で、現時点では全市又は県東部圏域を含め、利用できる施設を有効に活用していくことが大切ではないかと考えます。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 地域歴史資源を活かしたまちづくりについて (6) 鉄道公園の活用と鉄道の歴史について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇) 観光産業への興味関心を喚起するため、観光庁で「観光教育」の導入支援を始めた。「観光教育」導入の動きについて教育長の所見を伺う。</p> <p>(追及9) 鉄道公園のような地域にある身近な資源を掘り起こし、これを活用しながら子どもたちに地域の歴史を学んでほしい。このような地域資源を活用した教育について教育長の所見を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇) 観光教育とは、子どもたちに地元や日本各地の歴史や文化、こういった魅力的な観光資源等を理解させ、関心を持たせて、その魅力を実感・発信できる機会を増やして、観光産業への興味関心を喚起するものと把握しております。 本市においては、観光教育として学習はしておりませんが、こういった内容は総合的な学習の時間や社会科などでも学んだり実践しているところです。例えば、福部未来学園ではラッキョウの栽培・加工を体験し、修学旅行先で地元をPRする活動を行うことで、地元の自然や産業について学び、魅力を発信するといった取り組みを行っております。 現時点では、観光教育という言葉は学習指導要領に盛り込まれていませんが、このような郷土について理解を深め、愛着心を醸成する学習は大変重要なことと考えておりますので、今後もしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>(追及9) 子どもたちが身近な地域について知ることは、地元への愛着はもとより、社会に関心を持つという観点においても大変重要だと考えております。 特に、地域の発展にかかわる歴史や先人の努力を知ることは、歴史の学習にとどまらず、郷土に誇りを持ち、社会のために貢献しようとする意欲につながっていくと考えております。 現在、学校では地域研究をされておられる方や学芸員等に地元の歴史や偉人の功績などについてお話をいただくことがあります。また、調べ学習や道徳教材などの郷土資料から地域の歴史に触れることもございます。 今後も、外部人材や郷土資料を活用しながら地域の貴重な資源に触れ、これをきっかけとして地域に関心を持ち、地域への理解を深めていく子どもたちを育てていきたいと考えております。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	文化財課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>地域歴史資源を活かしたまちづくりについて 文化財保護法の改正に基づいた城跡及び旧城下町の整備について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b>  <b>(追及3)</b>          文化財保護法の改正を踏まえて城跡及び旧城下町の整備を進めるべきと思うがどうか。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b>  <b>(追及3)</b>          平成30年5月の文化財保護法改正は、従来の保存に重点を置いた内容から、保存とともに活用にも力を入れる内容となっています。これにより、文化庁の認定する「文化財保存活用地域計画」を策定し、地域の特性に合わせた取り組みを進めることができるようになります。本市においては、今年度から32年度にかけて、この「地域計画」の基礎となる「歴史文化基本構想」の策定に取り組んでいます。策定にあたっては、文化財の所有者や観光関係者を含め、広く市民の協力を得て、本市に適した文化財の保存活用を進めていきたいと考えています。鳥取城跡及び旧城下町の取り扱いについても、この中で考えてまいります。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	山田 延孝	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 豪雨・台風による水害対策について (7) 河川敷のスポーツ施設の今後のあり方について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及6)</p> <p>最近の異常気象により、毎年起こる豪雨で河川の増水が発生、河川敷のスポーツ広場、特に野球場の流失が起きている。大きな野球大会を誘致するためにも、洪水の心配のない丘陵地などへ施設をシフト替えしてはどうかと考えるが、市長の所見を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及6)</p> <p>現在、本市には、河川敷の野球場を除き、布勢野球場、美保球場、用瀬野球場を始め、10施設以上の野球場があります。さらに岩美野球場、郡家野球場、八東野球場など周辺地域にある施設も含めれば、県東部圏域全体の野球場は決して少なくありません。</p> <p>こうした球場を活用することが、大切でないかと考えられます。</p> <p>河川敷にあるスポーツ広場が、洪水によって流失してしまうのは大変残念なことです、中長期的な視点で考え方をさせていただきます。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	地域防災力の向上について (1) 鳥取市防災指導員・防災リーダー制度について		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 本市の小中学校における防災教育の取り組みについて伺う。 (追及7) 今後どのように防災教育の取り組みを進めていくのか教育長の所見を伺う			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 災害が頻発する中で、まさに防災教育は、「命を守る」学習であり、子どもたちが防災についての意識を高め「主体的に行動する態度」を育てることは大変重要だと考えます。 以前は、教室からグラウンドに避難するといった単調な訓練が多かったが、現在では、津波や土砂災害等を想定した訓練を年に2回以上行う等、学校や地域の実情に合わせたより実践的な訓練が行われています。例えば、今年度9月10日には鳥取市総合防災訓練が青谷小で行われるが、青谷小では地域住民と一緒に体験学習を実施したり、津波を想定して、高校生と一緒に高台に避難したりする訓練も実施する予定です。他にも県の事業を活用し、学校に鳥取地方気象台の方や学校防災アドバイザーを招いて学習を進める学校もあります。今後、命を守る防災教育をしっかりと取り組みを進めていきたいと考えています。 (追及7) 災害発生時には、まず自分の命を守るためにどう行動するか、正しく判断し避難行動することが重要です。災害発生後には、避難所での生活等で自分に何ができるか主体的に考え、行動できることが重要であると考えています。今後は、今行っている避難訓練や保護者への引き渡し訓練を各校が検証し、より実態に合ったものにできるように働きかけたいと考えます。特に、どのように保護者に引き渡すのかについては、被害の状況によって異なるので、様々な場合を想定して保護者や地域住民と一緒に対策をとるよう促していきたいと考えています。また、実際に避難所の様子や中学生が活動する様子をDVDの教材等から学んだり、自分に何が出来るか考えさせたりして、共助の意識の高揚にも取り組みます。 今後とも、先進的な取り組みを他の学校に紹介する等して、より実践的な訓練や学習にさらに取り組んでまいりたいと考えます。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 地域コミュニティを支える公民館について (1) 公民館のあり方について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇) 地区公民館は、地域の防災、高齢者や子どもなど地域の集う場所として重要と考えている。地区公民館の歴史と現在の位置づけについて教育長に伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇) 公民館は、教育基本法や社会教育法によって日本の教育法体系のなかに位置づけられます。 本市では、社会教育を振興し、住民福祉の向上を図るため昭和35年に「鳥取市公民館条例」を制定し、本格的な公民館活動の取り組みを開始しました。 以後、公民館は地域の中で青少年の健全育成や生涯学習の展開を行ううえで中心的役割を担ってきました。 その後、平成20年には「鳥取市自治基本条例」の制定に伴い、社会教育と合わせてコミュニティ活動の拠点施設としての役割も位置づけられました。 現在、本市には分館を含め62の地区公民館があり、社会教育の拠点、更にはまちづくりの拠点として「人が集い、人が学び、共に活動する地域の重要な施設」となっています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月12日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 災害対応に関連して</p> <p>(1) 豪雨災害・猛暑対応について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇) 学校にエアコンが設置されていないことから、苦しんでいる人がいる。このような状況について、どのように考えているのか。</p> <p>(追及1) 冬場に、小型除雪機の点検をすると同じで、夏場にエアコンの点検をすることはいかがか。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇) 近年の夏場の猛暑は、児童・生徒の学習や活動にかなりの影響を与えていると認識しているところです。 これまで繰り返して答弁してまいりましたが、エアコンの設置は急務であると考え、現在整備計画の策定を進めているところです。</p> <p>(追及1) 既設の空調機器の点検につきましては、各学校において、稼働確認や外観などの簡易的な点検を年1回以上実施しております。 異常などが見られた場合は、速やかに専門業者による点検調査などを行ったうえ、適切な対応に努めております。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	9月12日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<b>2 防災について</b> <b>(1) 小中学校ブロック塀点検について</b>		
<b>【質問要旨】</b> <b>(登壇)</b> 小・中・義務教育学校のブロック塀点検の手順を伺う。 <b>(追及1)</b> 学校敷地内にある石碑・慰霊碑等についての点検はされたのか伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> <b>(登壇)</b> 大阪北部地震が発生した翌日6月19日に、各学校に対して「校地内にあるブロック塀等の有無について調査」を依頼し、ブロック塀があると回答した学校へ教育委員会職員が手分けをして出向き、ブロック塀の状況確認を行いました。 さらに専門的な点検が必要と判断したブロック塀につきましては、再度建築技師職員とともに現地に出向き点検を行いました。 結果、ただちに撤去が必要な危険性のあるブロック塀はありませんでしたが、小学校4校、中学校2校、義務教育学校1校において、老朽化による劣化・損傷が見られたブロック塀が確認されました。 そのため、これらのブロック塀につきましては、解体・修繕をおこなうこととしており、この度、補正予算計上したところです。 <b>(追及1)</b> 教育委員会としましては、学校敷地内ある石碑・慰霊碑等の有無について把握はしておりますが、ブロック塀と同様の細かい点検までは行っておりません。 その多くは、学校の創立記念碑であるとか、地域にゆかりのある方を奉った忠魂碑や慰霊碑等で、それぞれ地元では大切にされてきたもののようです。 ただ、高さがあるものについては地震等の際に倒壊の危険性もあることから、平素より児童・生徒に対して不用意に近づかないよう指導しているところです。 教育委員会といたしましても、この度の北海道胆振（いぶり）東部地震をうけ、あらためて各学校に注意喚起の徹底を行ったところです。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b>	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	秋山 智博	担当部局	教育委員会
会派名	市民フォーラム	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月12日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	放課後児童クラブについて (1)人材確保について (2)支援員の処遇について (3)施設要望について		
<b>【質問要旨】</b>			
<p>(登壇) 平成30年度、放課後児童クラブは62クラブに拡大しているが、人材不足の声が上がっている。この人材不足の実態をどのように把握し対応しているか伺う。</p> <p>(追及1) 人材不足は人件費が安いことが要因と考えられる。昨年から取り組んでいる処遇改善事業はその解決手段と認識しているが、取り組み状況、どの程度、賃金アップに繋がったのか伺う。</p> <p>(追及2) 処遇改善事業は18時30分を超えて運営を行う必要があるが、開設時間に関係なく、賃金改善を行える事業として、キャリアアップ支援事業がある。この事業をどのように考えているか。</p> <p>(追及3) 全ての支援員の賃金アップのため、来年度からでもキャリアアップ支援事業に取り組めないか。</p>			
<b>【答弁要旨】</b>			
<p>(登壇) 多くの児童クラブでは、就学時健康診断の際に、次年度の新1年生保護者に向けクラブ説明を行い、申込、受付を開始します。この状況を把握した上で、市の職員がクラブへ出向き、保護者会等関係機関と協議を行うことで分割を進めています。クラブの分割を図るには支援員の確保が必要ですが、いずれのクラブにおいても人材確保に苦慮していると聞いています。対応としては、国の補助事業を活用するなど、賃金水準の改善を図り、支援員の確保が可能かどうか保護者会と協議を行ったり、保育士の資格をもつ退職者へ呼びかけるなど、人員確保の一助となるようサポートを行っています。</p> <p>(追及1) 人材不足解消の一つの手段として、本市では処遇改善事業に、平成29年度から取り組みました。昨年度は11クラブで40人、今年度は17クラブで69人の賃金が改善されており、この2年間で1人当たり年平均47万円の改善が行われています。市では、昨年度1,487万円、今年度2,003万円の支援を行ったところです。この事業は、保護者負担なく、賃金改善が図られることから、雇用増に繋がるものと期待しています。</p> <p>(追及2) キャリアアップ支援事業は、既に雇用されている支援員の勤務年数、資格取得状況により支援を行う事業であり、支援員の継続雇用、就労意欲の向上に期待できることから、各クラブの会計状況等を確認しながら検討したいと考えています。支援員の賃金改善については、放課後児童クラブ連合会においても呼びかけを行っており、賃金改善、保護者負担金の見直しをお願いし、よりよいクラブ運営をしていただくよう努めていただいています。</p> <p>(追及3) 先にお答えしたとおり、キャリアアップ支援事業は、支援員の継続雇用、意欲向上に繋がる有用な事業であることから、来年度からとは明言できませんが、今後、検討していきたいと考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中 対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日 平成30年9月27日(9月定例会教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	秋山 智博	担当部局	教育委員会
会派名	市民フォーラム	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月12日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	放課後児童クラブについて (1) 人材確保について (2) 支援員の処遇について (3) 施設要望について		
<b>【質問要旨】</b> (追及4) キャリアアップ支援事業を実施すれば、全ての支援員の賃金が改善される。現在、放課後児童クラブでは賃金に格差があると考えが、このことをどう認識しているか。 (追及5) キャリアアップ支援事業は有資格の支援員で12万円、5年以上勤務経験で約25万円、10年以上で約36万円程度が年間で加算される。この事業を詳しく説明いただきたい。 (追及6) 全ての支援員を対象とするためにも、一番金額の低い12万円の事業からでも取り組めないか。 (追及7) 開設時間を延長したくても、学校の終わる時間には教室から退出しなければならないクラブもあると聞いている。学校内の教室を利用する際は、クラブの希望する時間とはならないか。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及4) 放課後児童クラブでお勤めの支援員は、資格を持った支援員、パート、アルバイトと形態も様々であり、各クラブにおいて労働状況に適した賃金が支払われているものと認識しています。キャリアアップ支援事業は、資格を持った方が対象となります。そのため、全ての支援員を事業対象にすることは難しいと考えています。 (追及5) キャリアアップ支援事業は、議員お示しのとおり、有資格の支援員で12万4千円、有資格者で概ね5年以上勤務の支援員で24万8千円、有資格者で概ね10年以上で37万2千円の年間支援を行える事業です。 (追及6) 繰り返しになりますが、資格を持った支援員は事業の対象になりますが、資格を持たない支援員は対象になりません。そのため、未だ資格を持っていない支援員には、積極的に研修に参加していただき、有資格者となっていただきたいと考えています。 (追及7) 本市の児童クラブで学校内の普通教室、特別教室を共用しているクラブは33クラブあります。教室の利用にあたっては、あらかじめ学校と児童クラブで調整を行っています。 共用している場合、学校の保安上、校内に仕切を設ける、出入口を学校の玄関とは別にする等、工夫しながら施設の分離を図っているところです。教育委員会としても、引き続き、学校、児童クラブの共存が図られるように、学校、保護者会等と調整を行っていきます。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	桑田 達也	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	9月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 鳥取市の課題と展望について (3) 主権者教育について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇)</p> <p>希望ある未来へと導くには、正しき言葉の力や、市民力をいかに高めていくかが大切であり、そのためには、真のシチズンをつくるべく主権者教育が肝要と考える。今後の主権者教育の取り組みについて伺う。</p> <p>子どもたち自身が本市の未来を考える素地がなければ鳥取市の百年の大計もないと考えるが、市長と教育長の所見を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)本市では、小・中・義務教育学校における主権者教育を、正しい知識を学ぶことはもとより、例えば新聞記事をもとに自分の意見を述べ合ったり、社会科ではマンションのトラブルの解決策について話し合うなど、身近な問題を通じて考えを深めています。</p> <p>これらの学習を重ねることで、物事を多面的・多角的にとらえ、自分なりの考えを持ち、根拠をもって意見を述べ、相手に納得してもらおう力を養っているところです。</p> <p>また、このような力は、学校生活だけではなく、あわせて家庭や地域社会によって徐々に培われるものでありまして、日常生活の様々な場面において、主体的に自分の意思を示しながら積極的に関わる機会を持つことが子どもたちには必要と考え、学校・家庭・地域が連携を密にしながら取組を進めているところであります。</p> <p>次に主権者教育を通じて子どもたち自身が本市の未来を考える素地がなければ鳥取市の百年の大計もないということについての所見ですが、私たちは、全ての子どもたちが持っている可能性を広げ、伸ばし、一人一人が輝いて自己実現できるよう、子どもたちを未来へ送り届ける責務があると思っております。</p> <p>子どもたちが近い将来、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生きぬく力や、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる、そういった力を育てていくことが大切と考えております。</p> <p>今後とも学校・保護者・地域としっかりと連携しながら、本市の教育理念である「ふるさとを思い志をもつ子を育て、夢と希望に満ちた次代をひらく」この実現に努めてまいりたいと考えております。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
対応方針			
進捗状況			
報告日	平成30年9月27日(9月定例教育委員会)		

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	平成30年9月定例会		
議員名	椋田 昇一	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	9月18日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 防災について (3)千代川河川敷のスポーツ広場について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及9)</p> <p>市長は、「スポーツ広場の整備については、全市又は県東部圏域レベルで活用することを前提に、統合・整理を検討する」と先日も答弁している。洪水のたびに復旧事業を繰り返す河川敷のスポーツ広場は、税金の無駄使いである。河川敷のスポーツ広場は、優先・先行して検討を進め、早期に結論を出すべきと考えるが、市長の答弁を求める。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及9)【市長答弁】</p> <p>先日もお答えしたように、県や町が所有する施設の配置等を勘案し、全市または県東部圏域レベルで活用することを前提に、統合・整理を検討すべきと考えています。</p> <p>したがって、新たにスポーツ広場を移転・整備することについては、公共工事等に関係して、やむを得ず整備する場合を除き、現段階では困難と考えています。</p> <p>河川敷にあるスポーツ広場は、市民に手軽にスポーツを楽しんでいただける身近な施設としては大変有用であります。河川の増水被害による災害復旧工事によって市民の皆様には大変ご不便をおかけする期間も生じますが、現時点では引き続き河川敷広場を活用していきたいと考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
(対応済)			
<b>対応方針</b>			
<b>進捗状況</b>			
<b>報告日</b> 平成30年9月27日(9月定例教育委員会)			